

# 今月の

One of this month

冊

今月の評者



広島修道大学  
人間環境学部 教授  
三浦 浩之

Book

## 「ごみの文化・屎尿の文化」

「ごみの文化・屎尿の文化」編集委員会 編

新刊

### 「図表で読み解く 現代のごみ問題」

大澤 正明 編著



一般市民に対してごみに関する情報を提供しようとする立場にある人たちが気楽に目を通し、ごみ問題の全貌を理解することができる参考書に、と編まれた一書。

1,500円(税別)  
財団法人環境衛生センター  
TEL042-288-4967

### 「エネルギー経済と エコロジー」

室田 武 著

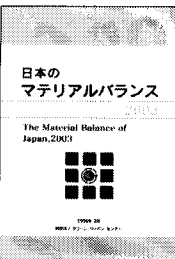


エネルギーを中心に、水、森、ごみ、原子力そして物質循環について、生活者の視点からエコロジー思想のコンテクストを読み解く1冊。新しいエネルギー思想がわかる。

2,600円(税別)  
晃洋書房  
TEL075-312-0788

### 「日本のマテリアルバランス2003」

財団法人・ジャパン・センター



日本のマテリアルバランスをさまざまな統計データで算出したデータ集。この資料によると日本では1年間に18.7億tの資源を投入して9.5億tの財を生産しているという。

財団法人・ジャパン・センター  
TEL03-6229-1031

## ごみの文化・ 屎尿の文化

「ごみの文化・屎尿の文化」編集委員会  
農業物学会 ごみ文化研究部会  
NPO日本下水文化研究会  
原簿・下水研究分科会



2,200円(税別)  
技報堂出版  
TEL03-5217-0885

本を開いて目次を見ると、「水を捨てる文化」「トイレの神様」「日本人はなぜ、しゃがんで排便するのか」「トイレマナーから見るトイレ史」など、知的好奇心を刺激する言葉がいくつもあって、「最初にトイレから受けた印象とは違い面白いかもしれない」と思い始めた。そこで、興味を引かれた話から読んでみた。

まず、「日本人はなぜ、しゃがんで排便するのか」である。答えは、日本人が日常生活でいろいろな座り方をしてきたこと、正座が普及する前の日本人の最も普通の座り方は、あぐらとそんきよ(膝を曲げ、かかとを地面につけ、おしりをその上に載せる姿勢。最近では、若者が道ばたでしゃがんでこの座り方をしている。)であり、これらが休息する体勢であったことが語られている。排便を休息する体勢でしているのである。若者が道ばたでしゃがんでいる様が「ウンコ座り」と呼ぶことがあるが、まさにその通りなのである。さらに、実は、人類が森の中で生活していた時代はしゃがむ姿勢が生

活の中で普通の体勢であったことが語られていく。結局、「日本人がしゃがんで排便する」ことが特異なのでなく、これは人類が古来よりとってきた一般的な方法であり、西欧文化において「腰掛けて排便する」とことが始まって、広まってきているに過ぎないのだということがわかった。なるほどと思った。もう、このあとは、次々と語られる話を次々と一挙に読み進めてしまった。

食と同じく、人類は古来よりさまざまな視点から屎尿やごみについて考え、対処してきたのである。そこには確かに「文化」と呼べるものがあることを、本書を通じて認識できた。

確かにそこに「文化」と呼べるものが